

今号の
内容

- 農業農村体験学習 in 登米市立北方小学校 P1
- 沼崎・大平地区（農地整備事業）で稲刈り P2
- 登米地方農業水利施設ストックマネジメント推進会議 P2
- 地すべり対策事業「錦織地区」の日常点検と維持管理 P3
- 第37回なかだの秋祭り「土地改良コーナー」を取材 P3
- 芸術はバクハツだ～！！【穴山幹線用水路壁画アート】. P4

1

農業農村体験学習 in 登米市立北方小学校

迫川沿岸土地改良区では、改良区の役割を周知する21世紀土地改良区創造運動の一環として、登米市立北方小学校5年生（17人）を対象に学習会を開催しました。

【1日目 7月11日（会場：迫川沿岸土地改良区）】

土地改良区の仕事についてDVDを上映し理解を深めました。また、当部から水難事故防止を啓発し、子供だけで水路やため池に近づいたり遊んだりしないことを約束しました。

続いて、中央管理室において、高石揚水機場の遠隔操作をする制御装置について改良区職員による説明が行われ、児童2人が除塵機の遠隔操作を体験しました。子供たちは、たくさんのコンピューターと大きなモニターに興味津々で、遠隔操作で動く除塵機に興奮していました。

その後、高石揚水機場に移動し、施設の機能について説明しました。子供たちは、ポンプの大きさと轟音に驚きましたが、田んぼに水を送るために、たくさんの燃料を使ってこのポンプを動かしていることなど施設の役割を理解した様子でした。



中央管理室

（高石揚水機場の除塵機を遠隔操作）

【2日目 9月5日（会場：登米市立北方小学校）】

「長沼の歴史と現状」「ふるさとの田んぼと水」について、改良区職員が説明しました。長沼は、北方小学校のすぐ近くにあり、子供たちにもなじみのある場所です。長沼にはいろいろな歴史があること、田んぼはお米を作るだけではなく生き物の住処になる等、いろいろな役割があることを学び、子供たちは認識を新たにしていました。

そして、パックテストを使って長沼と迫川の水質を調査し、代表児童が、調査結果を「長沼の水も迫川の水も、中性に近いきれいな水でした」と発表しました。

学習会の最後に予定していた長沼遊覧は、台風接近のため残念ながら中止となってしまいましたが、子供たちは楽しく学習し、農業農村への理解を深めることができた学習会となりました。



水質調査の結果をみんなで相談

2

沼崎・大平地区（農地整備事業）で稻刈り

登米市南方町の蕪栗沼北部に位置する沼崎・大平地区の大区画化された水田で稻刈りが行われました。

本地区は、令和5年度から農地整備工事が始まり、地区全体面積約53haのうち約47haについて、ほ場整備が行われ、区画が1ha～2haに大きくなり、農道の幅も広くなって、その結果、コンバイン等の大型機械の導入が可能となる他、農業機械のターンの回数や、ほ場間の移動に要する時間が短縮される等、作業の効率化が図られています。

調査結果によると、ほ場整備の前後で作業時間を比較すると労働時間が約4割低減しており、2ha区画では更に労働時間の短縮が期待されます。地元農家からは、「今年の稻刈りは例年より早く進めることができた」「従前の田んぼより大きくなつたことで、1年を通してとても営農しやすくなつた」と喜びの声が聞かれました。

また、今年は、早い梅雨明けと少雨高温により、全国的に深刻な渇水が起きていましたが、本地区では渇水の影響を受けず、収穫した米の収量・出来栄えは例年並みと良好な結果となりました。

残り約6haのほ場整備工事は、来年度実施する予定です。



大区画ほ場での稻刈り



早いスピードで稻が刈り取られます

3

令和7年度第1回登米地方農業水利施設ストックマネジメント推進会議

令和7年度第1回登米地方農業水利施設ストックマネジメント推進会議を9月2日（火）に登米合同庁舎において、開催しました。

登米管内の農業水利施設は約400施設あり、その8割が標準耐用年数を超過し、県全体の6割を上回っており、計画的な施設診断、保全計画、整備の推進が求められています。また、当管内では、突発事故が近年多発している状況にあり、今年度も数件突発事故が発生しています。

このことから、登米管内では、施設管理者自ら、実効性のあるストックマネジメント推進計画を策定し、計画を推進していくよう話し合いました。

会議では、過年度（令和2年度）に作成した台帳の施設数や標準耐用年数超過割合・機能保全計画作成数等が年数経過に伴い、現状に合わないことから、見直しを施設管理者に依頼しました。

今年度は、上記作業を取りまとめて、管内施設の整備優先度を定め、毎年のように発生している突発事故への対応や、標準耐用年数を超過した施設の機能保全対策を進めていく予定です。



ストックマネジメント推進会議

4

地すべり対策事業「錦織地区」の日常点検と維持管理

平成4年に地すべり防止区域に指定された錦織地区は、地すべりから農地や人家等を守るために対策工事が行われ、平成15年に概ね工事が完成しています。当部では、概成以降も対策工事で作られた施設の点検と維持管理を定期的に行い、地すべりの前兆現象や地すべり防止施設の機能に問題が無いか等を確認しています。

今年は10月に当部職員が施設周辺の草刈りや、水路に溜まった土砂を撤去しました。草刈り・土砂撤去後は施設とその周辺を目視で確認し、地面にひび割れや孕(はら)みだしがないか、地すべり防止施設に破損等がないかを点検しました。

点検の結果、前回からの変状はありませんでしたが、経年劣化により一部施設に破損が見られるため、今年度以降、段階的に施設を更新していきます。

点検は、定期的な点検以外にも、大雨や大きな地震が発生した際にも行っており、今後も地すべりから地域の安全を守るために、施設に異常が無いか確認していきます。



草刈りの様子



異常がないか定期的に点検します

5

第37回なかだの秋祭り「土地改良コーナー」を取材

第37回なかだの秋祭りが11月2日開催され、北上川沿岸中田地区土地改良区による「土地改良コーナー」が出展されました。

土地改良コーナーは、改良区が管理する田んぼ等の四季折々の写真や、改良区で管理している3つの機場（大泉揚水機場、五ヶ村堀排水機場、水越揚水機場）のジオラマなどが展示されていました。ジオラマは改良区職員の手作りで、機場周辺の水路や田んぼなども細かく再現されており、機場から田んぼへ流れる用水の様子等が良く理解できます。また、輪投げや射的といった子供向けのブースも用意され、たくさんの親子等で賑わいました。

およそ300人の来場者は、輪投げや射的を楽しんだり、展示された写真やジオラマを興味深く見入ったりと、地域の田んぼの様子を身近に感じ、収穫の喜びを実感した一日となりました。

機場のジオラマ⇒



芸術はバクハツだ～！！

【穴山幹線用水路壁画アート】

皆さん、米山町西野にある穴山幹線用水路の壁画アートをご存知ですか？

これは、農業・農村の持つ多面的機能のひとつである農業水利施設や土地改良区の役割について情報発信を行い、地域住民からの理解と協力を得ることを目的に、迫川沿岸土地改良区が21世紀土地改良区創造運動の一環として平成15年度から継続して取り組んでいる描画活動です。

今年は、10月19日に米山Jr.バスケットボールクラブ、10月25日に下小路子供会・八軒小路子供会が参加し、総勢60名により素敵な壁画が描かれました。どの団体の子供たちも、普段は描くことのできない大きな壁のキャンバスに、まるで芸術家の如く大胆かつ繊細にペンキを塗るなど、楽しく活動していました。



長年にわたって描かれ続けてきた壁画は、総延長530メートルにもなり、周辺の田園地帯の無機質なコンクリート水路を華やかに彩っています。また、用水路周辺のゴミも減る等、環境改善にも大きく貢献しております。

近くにおいで際は、子供たちが描いた壁画アートを是非ご覧ください！



「とめNNだより」は、農業農村整備部(通称NN部)の広報広聴活動の一環として、登米管内の農業農村整備事業に関する活動を広くお知らせする目的で、年3回発行を予定しております。掲載内容についてお問い合わせ等ありましたら、管理調整班までご連絡ください。

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部 広報広聴委員会（編集：管理調整班）



〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼150-5

Tel : 0220-22-5169 Fax : 0220-22-6015

E-mail : et-tmnnbkt@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmmsgsin-ns/>

こちらからも
アクセス出来ます！！

